

# 平成26年度予算見積調書

課室名：森づくり課  
 担当名：森林活動支援担当、森林企画担当  
 内線：4301 (単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
B78	里山・平地林再生事業			一般会計	農林水産業費	林業費	造林対策費	里山・平地林再生事業費	
事業期間	平成24年度～平成27年度	根拠法令	彩の国みどりの基金条例			戦略項目	10 みどりと川の再生		
						分野施策	040102 みどりの再生(多様で健全な森林の整備・保全)		
<p>1 事業の概要</p> <p>放置された里山・平地林を再生し、景観の向上や生物多様性の保全など、公益的機能の高度発揮を図るとともに、新たに森林を造成し、憩いの場を創造するなど、森林に関する意識の醸成を図る。</p> <p>(1) 里山平地林の再生 270,375千円                      (2) 本多静六博士の森づくり 6,752千円</p>				<p>5 事業説明</p> <p>(1) 事業内容</p> <p>県民にとって身近な緑である里山・平地林において、手入れがされず放置された森林の整備・再生を行う。森林が少ない地域で、100年先を見据えた森づくりを行う。</p> <p>ア 里山・平地林の再生 平成26年度の森林整備面積 250ha(県190ha、市町村60ha) 270,375千円                      イ 本多静六博士の森づくり 平成26年度の森林整備面積 4ha 6,752千円</p> <p>(2) 事業計画</p> <p>ア 里山・平地林の再生 平成24～27年度の4年間で1,000haの森林の再生                      イ 本多静六博士の森づくり 平成24～27年度の4年間で8haの森づくり</p> <p>(3) 事業効果</p> <p>里山・平地林を整備、再生することにより、森林植生が回復し、生物多様性の保全などの森林の持つ多面的機能の高度発揮が図られる。                      また、森林内の見通しが改善され、景観や環境の保全、地域の防犯、利用者や住民の安全性の向上が図られる。憩いの場や自然体験の場としての活用が図られ、身近な緑や森林づくりの重要性について県民の理解が深まる。</p> <p>年度別の整備面積</p> <p>ア 平成21年度 191ha、平成22年度 199ha、平成23年度 221ha、平成24年度 240ha、平成25年度 250ha(見込)                      イ 平成21年度 3ha、平成22年度 1ha、平成23年度 1ha、平成24年度 1ha、平成25年度 2ha(見込)</p> <p>(4) 県民・民間活力、職員のマンパワーの活用、他団体との連携状況</p> <p>地域のボランティア団体や自治会、森林所有者との協力・連携により維持管理を行う。                      平成24年度から市町村への補助を導入。                      職員による森づくり活動への技術・安全指導</p>					
<p>2 事業主体及び負担区分</p> <p>(1) 里山平地林の再生                      ア補助金以外 (県10/10)                      イ補助金 (県定額)市町村                      (2) 本多静六博士の森づくり (県10/10)</p>									
<p>3 地方財政措置の状況</p> <p>なし</p>									
<p>4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員</p> <p>9,500千円×4人=38,000千円</p>									
予算額		財 源 内 訳						一般財源	前年との 対比
		繰入金	諸収入						
決定額	277,127	276,277	850					18,955	
前年額	258,172	258,172							